

令和2年度

学校評価アンケート資料

1 考察

- (1) アンケート A (協働型学校評価 重点目標) の結果から
- (2) アンケート B (日常の指導) の結果から

2 アンケート集計結果

- (1) アンケート A (協働型学校評価 重点目標)
 - ・ 児童
 - ・ 保護者 (含 記述内容一覧)
 - ・ 地域
- (2) アンケート B (日常の指導)
 - ・ 児童
 - ・ 保護者 (含 記述内容一覧)
 - ・ 地域 (含 A 及び B 記述内容一覧)



1 学校評価アンケートの結果から

(1) アンケートA（協働型学校評価 重点目標）の結果から

「人とかかわり，互いに認め合う子供の育成」

具体的な児童の姿		関連内容			
		児童	保護者	地域	教職員
自分を高める	①自分の考えを持つ	設問 1			設問 1
	②自分の考えを伝える	設問 2	設問 1	設問 1	設問 2
	③自分の良さに気付く	設問 3	設問 2	設問 2	設問 3
	④善悪の判断ができる	設問 4	設問 3	設問 3	設問 4
人とかかわり	⑤進んであいさつをする	設問 5	設問 4	設問 4	設問 5
	⑥友達の良さに気付く	設問 6			設問 7
	⑦あたたかい言葉遣い	設問 7			設問 6

<考察>

「①自分の考えを持つ」という点については，児童アンケートから1～4年生までは8割を超える肯定的な回答が得られたが，高学年になるにつれてやや減少傾向が見られた。「②自分の考えを伝える」においても同様の傾向にあり，①と比べるとどの学年においても肯定的な回答の割合が少なくなっている。しかし保護者アンケートにおいては，全学年において子供の話をよく聞いていると肯定的に回答している割合が9割を超えており，やや意識の相違が見られている。児童が自分のことについて教師や保護者へ相談しやすいような体制や雰囲気をつくっていくことが大切であること，また学習面から見ても自分の考えを他者へ表現することで深まっていくと考えられることから，今後の重要な課題の一つと言える。

「③自分の良さに気付く」という点について，保護者，地域，教職員のいずれも，子供の良さを「認め，励ましている」と肯定的に回答しているが，児童アンケートからは，高学年になるにつれて肯定的な回答の割合が減少していることが分かった。一人一人が「できる」という自信を持って学習に取り組むことができるような授業へ改善していくことなど，学校生活の具体的な場面でその心情を育てていくことが大切であると考ええる。

人とかかわりについて「⑤進んであいさつをする。」の項目では，児童，教職員ともにとっても肯定的な回答が高い。あいさつに関しては個人差が大きく，「あいさつができていない」という具体的な指摘もあることから，今後も継続的に取り組む必要があると考ええる。

(2) アンケートB（日常の指導）の結果から

主な内容	関連内容			
	児童	保護者	地域	教職員
分かりやすい授業	設問 1	設問 1		設問 1
家庭学習への取組	設問 2	設問 2		設問 2
きまりの遵守	設問 3	設問 3		設問 3
丁寧な言葉遣い	設問 5	設問 4	設問 2	設問 4
進んであいさつ		設問 5	設問 3	設問 5
安全意識	設問 10	設問 8, 9	設問 5, 6	設問 9, 10
自分や友達を大切にする	設問 7, 10	設問 10	設問 7	設問 11
相談・質問	設問 7, 8	設問 13		設問 14
学習環境		設問 17, 18	設問 14, 15	設問 18, 19

<考察>

- すべてのアンケートにおいて、全設問とも児童、保護者、地域、教職員の4者に同様の傾向が見られた。

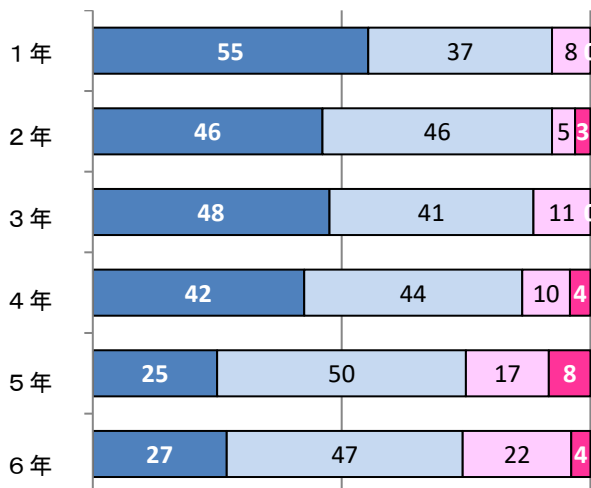
「丁寧な言葉遣い」に関しては、昨年度以前から課題となっていた内容であり、数値的にはやや改善傾向であるものの、今後も継続して指導していく内容であると考えている。また、児童が教職員や保護者に対して「相談・質問」しやすいかという設問では、保護者・教職員ともに肯定的な回答となっているが、児童のアンケートでは30%弱の子供たちが否定的な回答となっている。いずれも、コミュニケーションに関する課題であるため、改善に向けた「目指す姿」について互いの共通理解を図っていきたい。

児童アンケートA「重点目標」 全校集計

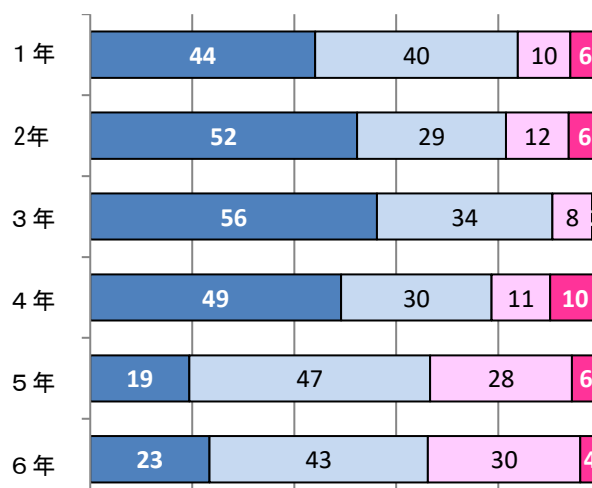
設問 / 評価	人数(人)					割合(%)			
	A	B	C	D	合計	A	B	C	D
1 わたしは、自分の考えを持って、授業や話し合いに参加している。	159	169	45	13	386	41	44	12	3
2 わたしは、授業や話し合いの時に、自分の考えを友達や先生に話したり書いたりしている。	161	139	66	19	385	42	36	17	5
3 わたしは、自分には良いところがあると思う。	185	117	47	36	385	48	33	12	9
4 わたしは、やって良いことと、やってはいけないことを考えて、生活している。	183	150	46	11	390	47	43	12	3
5 わたしは、友達や先生に、進んであいさつをしている。	278	76	22	9	385	72	20	6	2
6 わたしは、友達の良いところを見つけようとしている。	169	163	35	18	385	44	42	9	5
7 わたしは、言葉づかいに気を付けて、友達と話をしている。	142	149	70	24	385	37	39	18	6
8	0	0	0	0	0	0			
評価毎計	1277	963	331	130	2701	47	36	12	5
提出率	90%								
回答数	390								
在籍数	432								

児童アンケートA「重点目標」 学年比較(%)

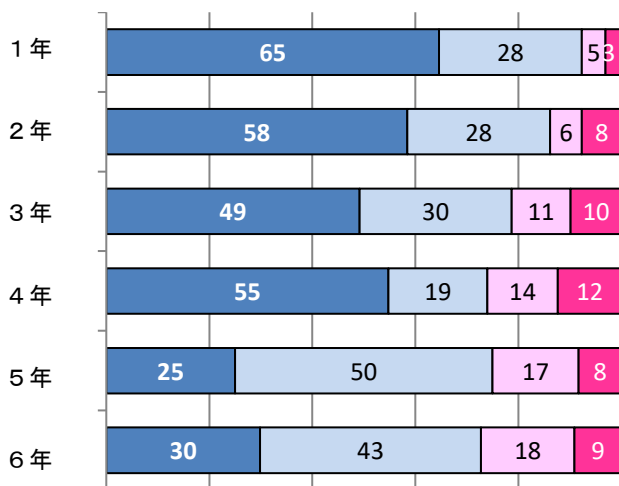
1 わたしは、自分の考えを持って、授業や話し合いに参加している。



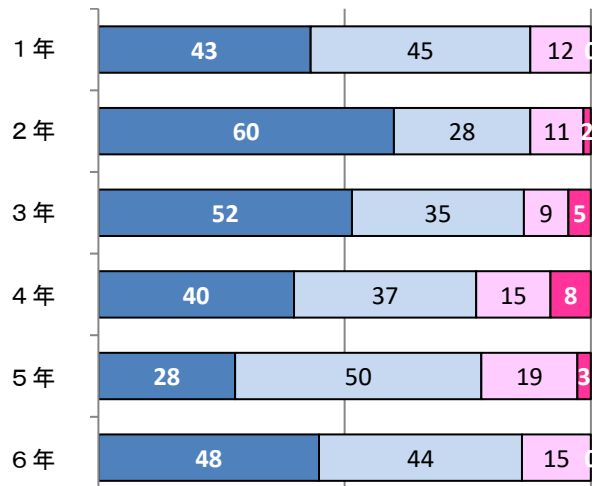
2 わたしは、授業や話し合いの時に、自分の考えを友達や先生に話したり書いたりしている。



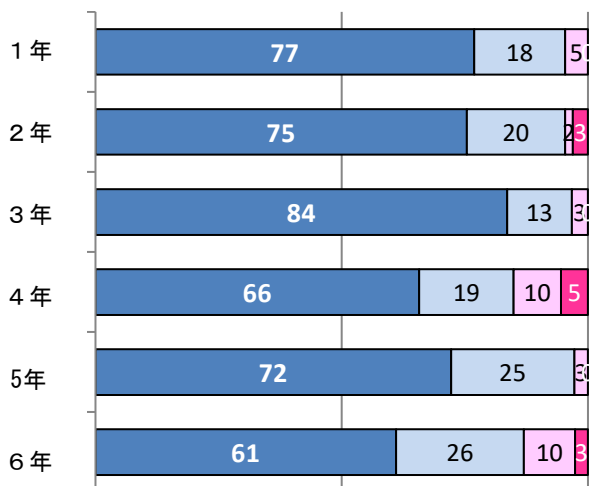
3 わたしは、自分には良いところがあると思う。



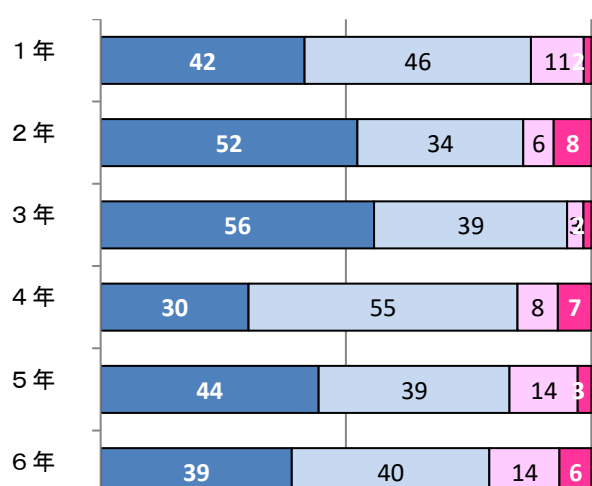
4 わたしは、やって良いことと、やってはいけないこととを考えて、生活している。



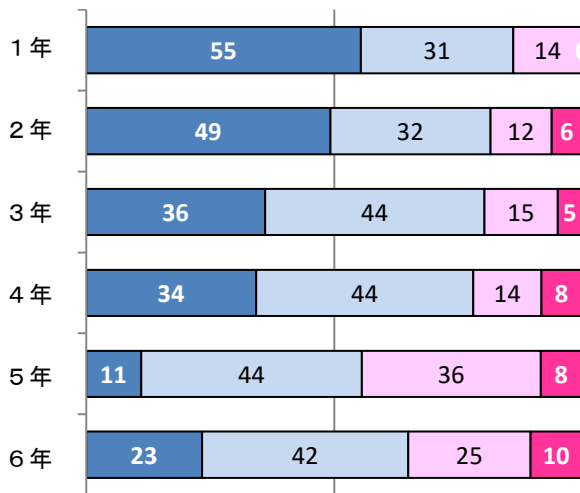
5 わたしは、友達や先生に、進んであいさつをしている。



6 わたしは、友達の良いところを見つけようとしている。



7 わたしは、言葉づかいに気を付けて、友達と話をしている。

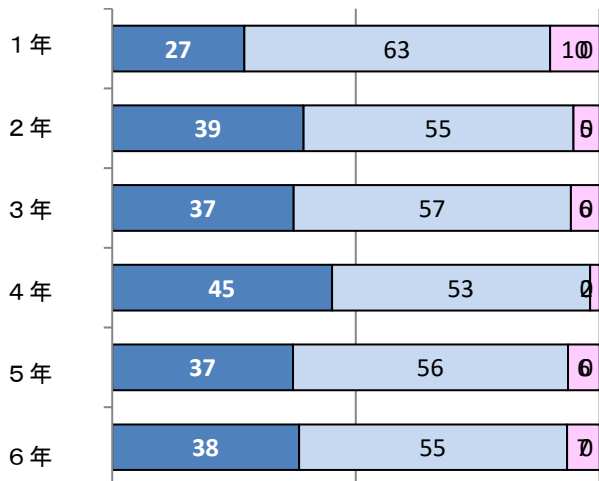


保護者アンケートA「重点目標」 全校集計

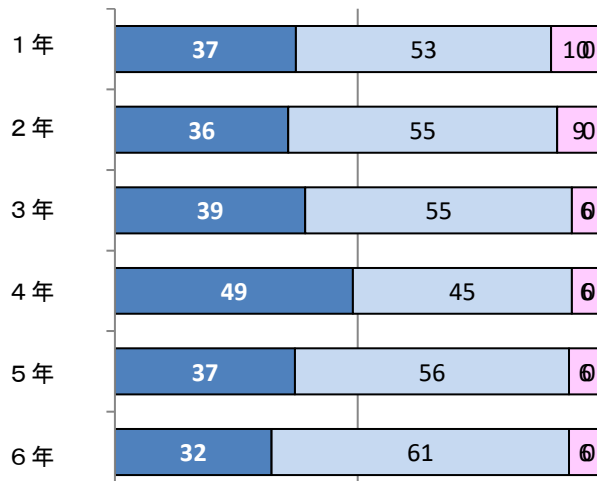
設問 / 評価	人数(人)					割合(%)			
	A	B	C	D	合計	A	B	C	D
1 わたしは、子供の話をよく聞いている。	126	196	22	0	344	37	57	6	0
2 わたしは、子供の良いところを認め、褒めている。	131	189	26	0	346	38	55	8	0
3 わたしは、善悪を正しく判断して生活することの大切さを、子供に話している。	173	159	14	0	346	50	46	4	0
4 本校の児童は、人とかかわり、互いに認め合おうとする姿勢で学校生活を送ることができている。	93	229	18	4	344	27	67	5	1
5	0	0	0	0	0	0			
6	0	0	0	0	0	0			
7	0	0	0	0	0	0			
8	0	0	0	0	0	0			
9	0	0	0	0	0	0			
評価毎計	523	773	80	4	1380	38	56	6	0
提出率						88%			
回答数						399			
在籍数						453			

保護者アンケートA「重点目標」 学年比較(%)

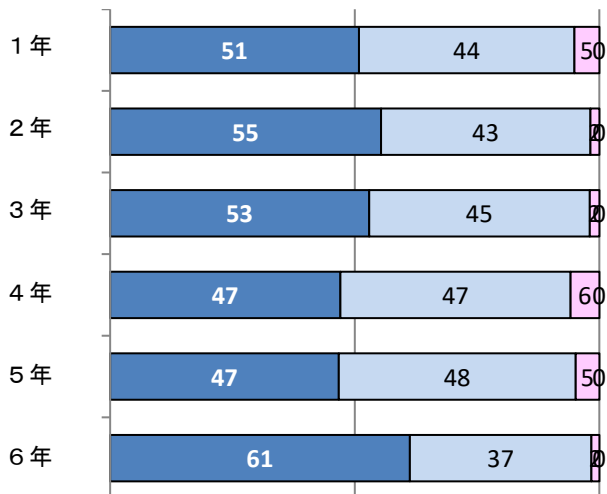
1 わたしは、子供の話をよく聞いている。



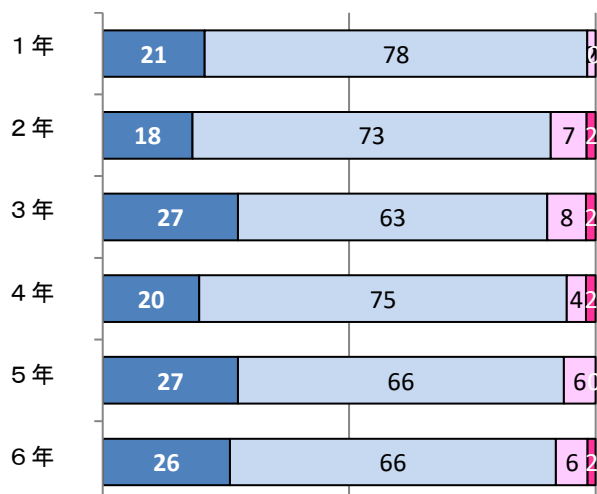
2 わたしは、子供の良いところを認め、褒めている。



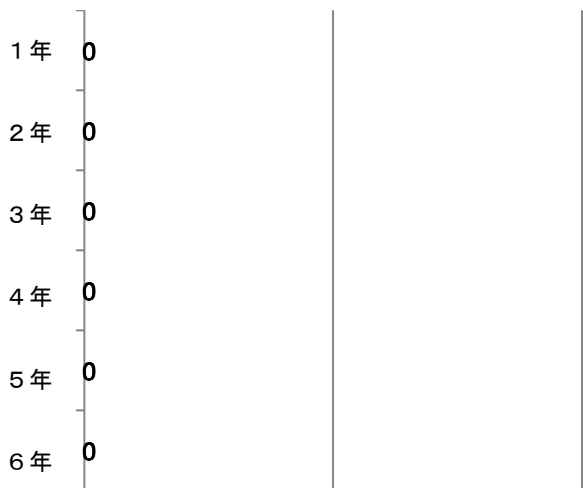
3 わたしは、善悪を正しく判断して生活することの大切さを、子供に話している。



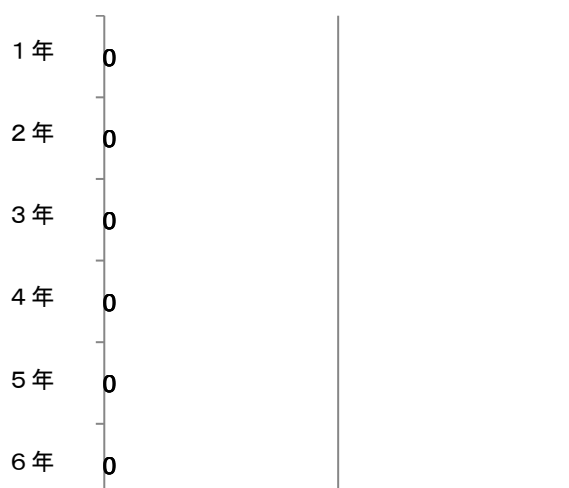
4 本校の児童は、人とかわり、互いに認め合おうとする姿勢で学校生活を送ることができている。



5 0



6 0



<A> 保護者アンケート 記述内容

- ・ 今年度はコロナ禍の中、丁寧に子供たちのことを指導して頂き、ありがとうございます。今年度はコロナで行事ができず、やむを得ないとは思いますが、授業では学べないことを運動会、発表会、わかま祭り等を通して様々な経験につながると思うので、ぜひ実施して頂きたいです。以前行っていた1～6年生と一緒に榴岡公園に行くような他 学年との交流もぜひ取り入れてほしいです。いつも先生方には指導して頂き、感謝しかないです。
- ・ コロナ禍のため6月スタートとなりましたが、子供は「学校楽しい」と言いながら、毎日期待を持って登校しています。新しい環境の中で、友達ともなかよくなり、よい雰囲気・関係性で過ごせているのも担任の先生のおかげだと家族で話しています。一人一人の長所を温かく見守って頂くことで、友達と関わり、相手の良さを受け止め、勉強に生活にと力をそそいでいるようです。丁寧に教えて頂き、感謝しています。
- ・ 次年度も変わらず続けていただきたいです。
- ・ いつもお世話になっております。学級活動や帰りの会で「お友達のキラキラ」で自分の名前を呼ばれてうれしかったことや、計算カードでがんばる級友の話をするなど、毎日楽しく過ごしています。「認め合う」ことで自己肯定感が高まることと、本来は改善しなくてはいけないのに「できている」と思い込んでいくことと、バランスを取ることが難しいと感じる時もあります。悪いこと良いことを判別させながら、家でも声掛けを行っていきたいです。
- ・ 自主勉強を「宿題」にする。これは私の小学校の時の取組です。がんばってページが多いと（塾と宿題とは別物で、自らの）シールがもらえたり、目先の喜びと友人のがんばりと競争心と「認め合い」が生まれました。宿題+自主勉の声掛けの柱で「自主性」も少しずつ生まれるかもしれません。
- ・ 児童たち（本人）は、自分を高めている意識はないように思いました。特に高学年は自分を高めていくなどは考えてないようです。学校側でそのように児童たちが意識するように自然にしてくれたのならありがたいと思いました。
- ・ 縦のつながりを作り、縦の関係を作ってもらえると、下級生に対しての接し方が少し変わるのではないかと思った。
- ・ 相手を思いやる子供の育成。よく考え解決できる、たくましい心と体の子供の育成
- ・ 生きていく上で一番難しいのは人との関わりです。大人になっても悩みはつきません。子供の頃から少しずつ人との関わりを学んでいって成長して欲しいと思います。
- ・ 子供たちは、男女それぞれ様々なことを考え、生活していると思いますが、なかなか1対1で先生とじっくりと話す機会はないのかもしれないと思います。たまにささいなことでも、ゆっくり話せる時間があると良いのではと思います。
- ・ 発達障害があるお子様に対する子供の認識が変わりました。先生がきちんと個

性として伝え、どのように接していけば良いお友達の関係でいられるのかを、繰り返し教えてくれたおかげです。

- ・ コロナの影響で、家庭では人との関わりが少ない中、学校で友達と関わり合うことができてありがとうございました。来年は、目標環境がしやすい年度となることを願います。
- ・ 人とかかわる事はとてもよいことだと思うので、続けて欲しいと思う。
- ・ 自己肯定感が高い子が多いと思います。自分のことが大切、同じように友達のことも大切ができていると思う。先生方が忙しい中でも、子供たちとの関わりの時間を大切にいただいていると感じます。ありがとうございます。
- ・ 先生が善悪の善し悪しをきちんと説明してくださっていると思う。人の良いところをほめ、認め合い、おかげで友達の輪が広がり、生き生きと学校生活を送っている。
- ・ 子供たちの遊びの中に先生が参加してくださっていて、仲間はずれがなく、子供も安心している。
- ・ 次年度も引き続き、重点目標として取り組んでいただきたいです。よろしくお願い致します。
- ・ 東六小の子供たちは、みんながやるならやる、やらないからやらないという事がなく、寒い人は着る、暑い人は脱ぐ、持ち物の違いなど、子供にありがちな変な協調圧力が少ない印象で、とてもよいことだと感じています。朝教室には入れないうちの子も、そのまま受け入れてくれて、クラスの子とも仲良くしているので、感謝しています。

- ・ 年が上がるにつれ、反抗期も重なり、互いに認め合う事が難しいように思えます。感情のコントロールや相手の話をきちんと聞き、理解する気持ちを常に持って生活して欲しいです。
- ・ 自分がした事が相手はどう感じるか、自分がされていやな事はしないなど、自分に置き換えて考える取組（授業）を多くして欲しい。言葉や態度がきつい子もいるので、言葉の大切さも知って欲しいと感じる。
- ・ コロナのためほとんど学校の様子がわからず、先生方のがんばりもあまり知ることができず残念でした。
- ・ 休み時間にも、先生に生徒の様子を見守って欲しいと思う。
- ・ 今年はコロナの影響で、学級懇談会や行事もあまりなかったもので、学校の様子がよくわかりませんでした。もしまた休校になることがあれば、課題だけが渡され、家庭に丸投げの状態だったので（家庭によって勉強みれる家、みれない家あると思います）もう少し何か学校でサポートがあると良いと思いました。
- ・ 先日の授業参観に行ったとき、お休みの児童の机の上に、雑巾が放置されていました。（たまたまではなく、ぐしゃっと）先生も生徒も気付くことなく、気に

ならず過ごしていました。休みでも休みでなくても、机の上のぞうきんに気付かないというスタイル。その子がなぜ不登校になっているのかとても気になりました。

- 友達とうまくいかないと感じるときどうすれば良いか、助言をいただけると良いなあと思います。
- 思いやりを大切に丁寧に生活をして欲しい。
- インターネットを介したゲームや YouTube 等の影響が強く、言葉遣いやヒト・モノを大切に作る心、大切な存在なのだという指導を家庭でも行っておりますが、お友達に引っ張られる部分もあるようです。学校でも外部の情報に流されない、互いに認め合えるご指導を願います。
- 高学年になるにつれて、学校での様子が分かりにくくなっています。
- 我が子は低学年ですが、登下校を見ていると、遊びながら登校している姿が見かけます。注意はしていますが、先生方からも厳しい指導をお願い致します。
- コロナ禍の中で、いろいろと学校行事も縮小せざるを得ないところではありますがその中でも協力し合える学校生活が送れるようになればと思います。
- この目標を達成するために、具体的にどういうことをしてきたのか、お便り等で知りたかったです。
- 「他人を思いやることができる子供」になって欲しいです。

地域アンケートA「重点目標」 集計

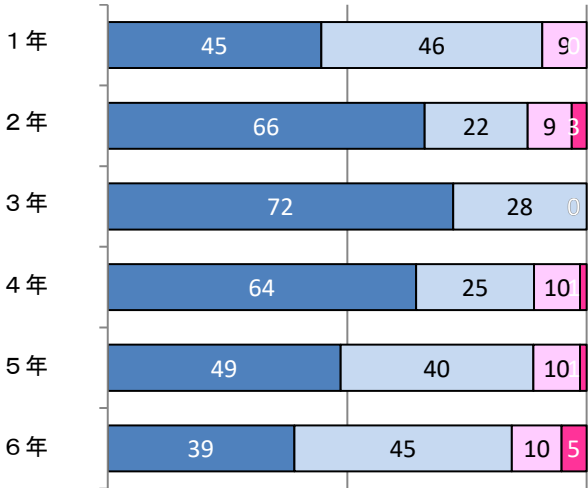
設問 / 評価	人数(人)					割合(%)			
	A	B	C	D	合計	A	B	C	D
1 わたしは、東六小の子供たちの話をよく聞くようにしている。	9	14	3	0	26	35	54	12	0
2 わたしは、東六小の子供たちの良いところを認め、褒めるようにしている。	11	12	3	0	26	42	46	12	0
3 わたしは、東六小の子供たちが善悪を正しく判断して生活できるように、声掛けをしている。	4	18	4	0	26	15	69	15	0
4 本校の児童は、人とかわり、互いに認め合おうとする姿勢で学校生活を送ることができている。	3	16	5	0	24	13	67	21	0
						0			
評価毎計	27	60	15	0	102	26	59	15	0
提出率						87%			
回答数						26			
依頼数						30			

児童アンケートB「日常の指導」 全校集計

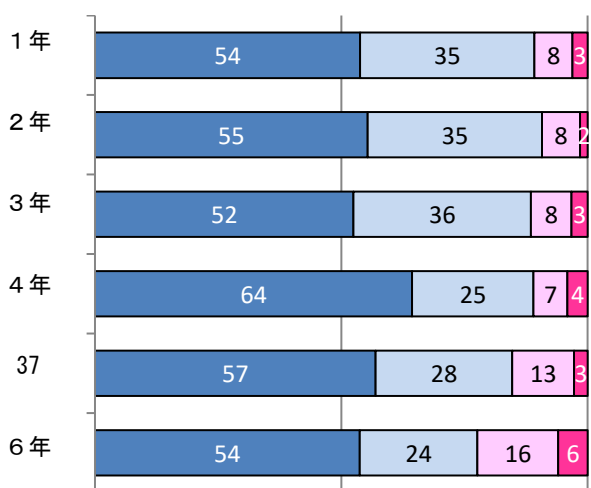
設問 / 評価	人数(人)					割合(%)			
	A	B	C	D	合計	A	B	C	D
1 学校の授業は分かりやすい。	233	145	35	8	421	55	34	8	2
2 家庭学習(宿題, 自主勉強, 読書など)に進んで取り組んでいる。	232	123	40	16	411	56	30	10	4
3 学校や学級のきまりや約束を守っている。	200	168	45	8	421	48	40	11	2
4 校舎内外をきれいに使っている。	258	124	27	12	421	61	29	6	3
5 ていねいな言葉づかいでお話している。	141	173	79	29	422	33	41	19	7
6 学校で活躍する場がある。	156	136	87	42	421	37	32	21	10
7 先生に勉強のことを質問しやすい。	173	131	79	36	419	41	31	19	9
8 先生に困っていることや悩んでいることを相談しやすい。	154	130	86	51	421	37	31	20	12
9 早寝早起きをしている。	166	125	68	63	422	39	30	16	15
10 安全に注意して登下校している。	300	96	21	13	430	70	22	5	3
11 人のいやがることをしていない。	215	129	55	11	410	52	31	13	3
評価毎計	2228	1480	622	289	4619	48	32	13	6
提出率	97.5%								
回答数	421								
在籍数	432								

児童アンケートB「日常の指導」 学年比較(%)

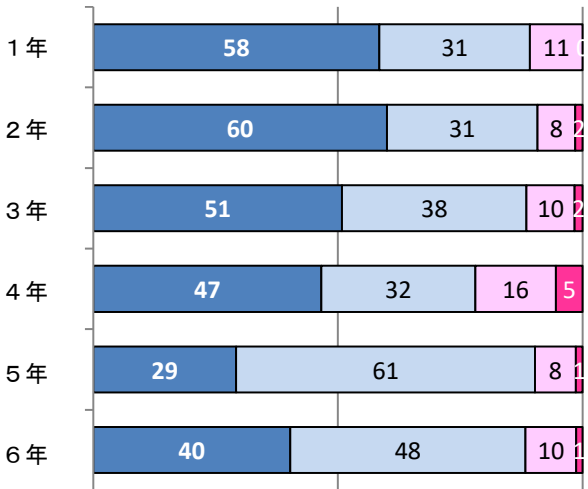
1 わたしは、学校の授業は分かりやすい。



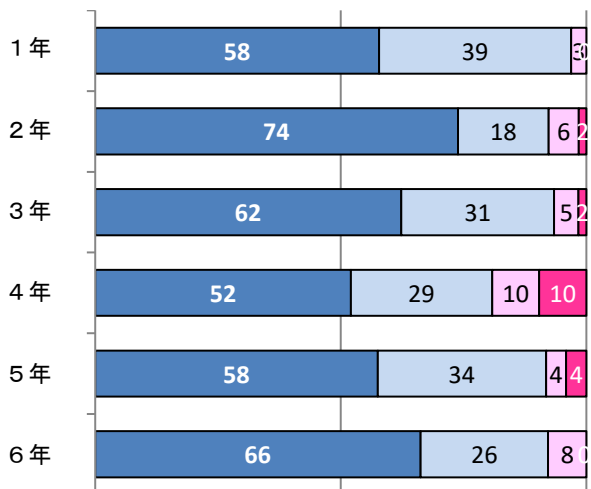
2 わたしは、家庭学習（宿題、自主勉強、読書など）に進んで取り組んでいる。



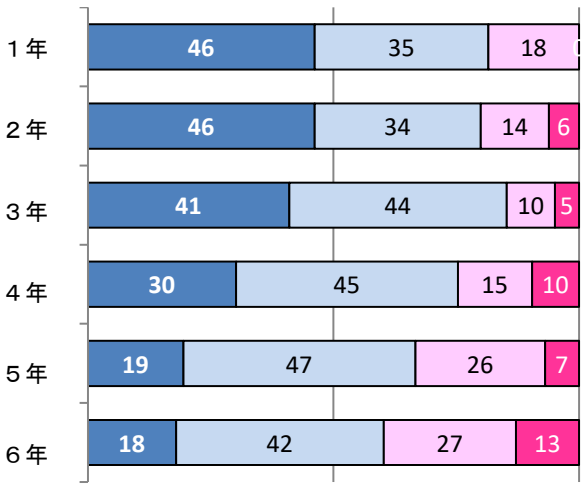
3 学校や学級のきまりや約束を守っている。



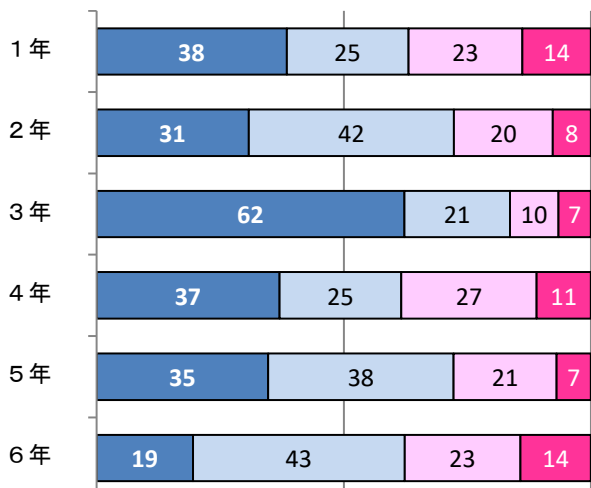
4 校舎内外をきれいに使っている。



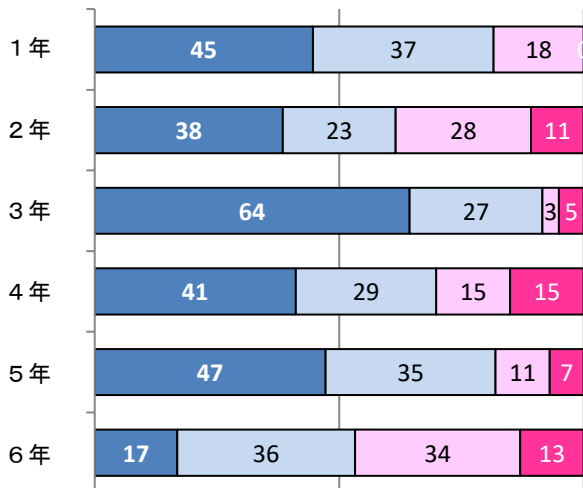
5 ていねいな言葉づかいでお話ししている。



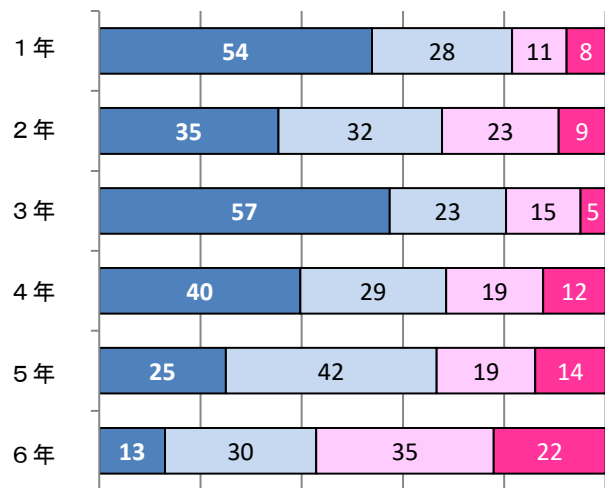
6 学校で活躍する場がある。



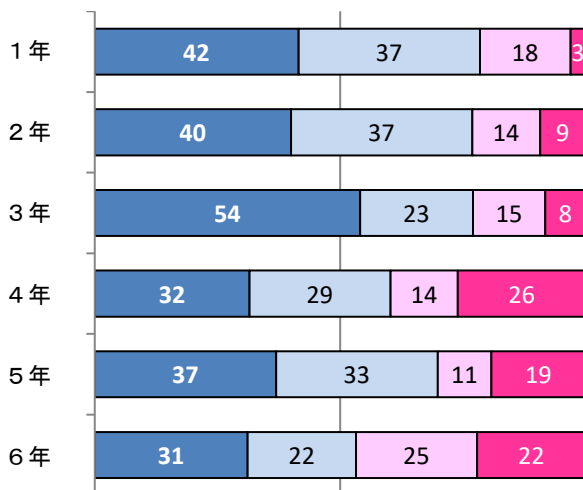
7 先生に勉強のことを質問しやすい。



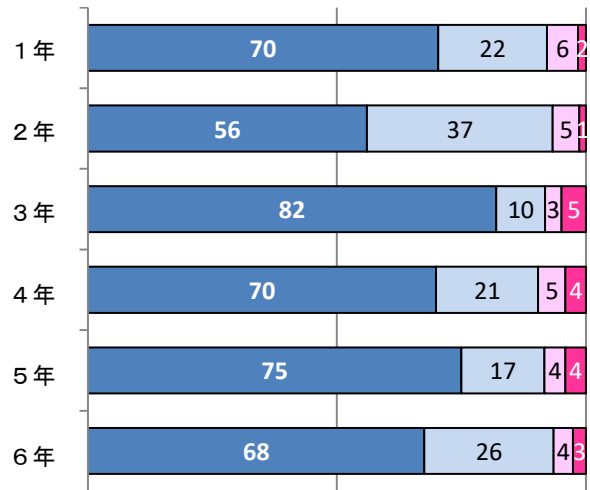
8 先生に困ったことや悩んでいることを相談しやすい。



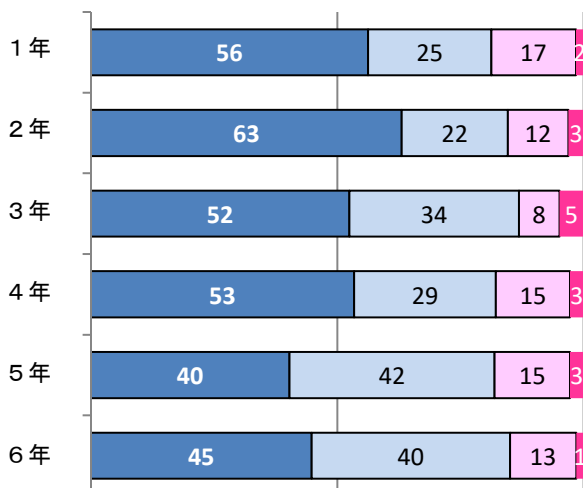
9 早寝・早起きをしている。



10 安全に注意して登下校している。



11 人のいやがることをしていない。

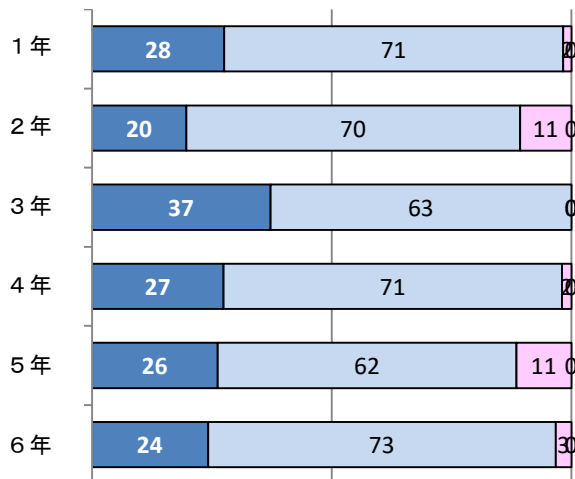


保護者アンケートB「日常の指導」 全校集計

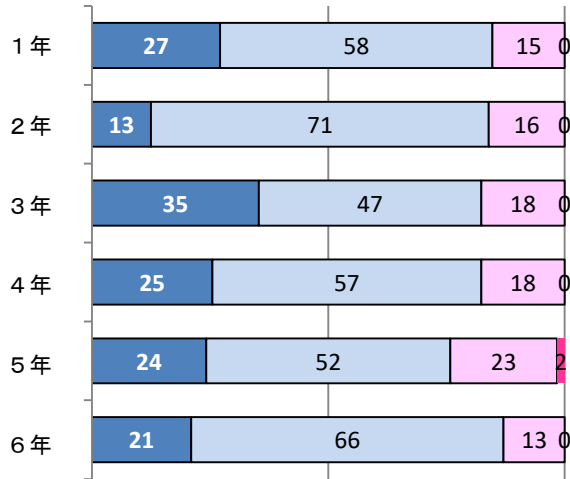
設問 / 評価	人数(人)					割合(%)			
	A	B	C	D	合計	A	B	C	D
1 東六小は、子供たちにとって分かりやすい授業をしている。	94	233	17	0	344	27	68	50	
2 東六小の子供たちは、家庭学習(宿題、自主勉強、読書など)に進んで取り組んでいる。	85	202	58	1	346	25	58	17	0
3 東六小の子供たちは、社会規範や公衆道徳を身に付けている。	55	244	40	1	340	16	72	12	0
4 東六小の子供たちは、丁寧な言葉遣いをしている。	28	225	87	4	344	8	65	25	1
5 東六小の子供たちは、進んであいさつをしている。	56	170	118	8	352	16	48	34	2
6 東六小の職員は、子供たちや保護者にとって相談しやすい雰囲気づくりをしている。	91	217	36	0	344	26	63	10	0
7 東六小の子供たちは、規則正しい生活習慣を身に付けている。	61	246	35	2	344	18	72	10	1
8 東六小の子供たちは、安全に注意して生活している。	57	238	44	4	343	17	69	13	1
9 東六小の子供たちは、不審者や災害に対する心構えがある。	93	222	28	1	344	27	65	8	0
10 東六小の子供たちは、自分や友達を大切にしている。	119	213	20	1	353	34	60	6	0
11 東六小からの発信で、教育方針や教育活動の様子が伝わっている。	97	201	43	3	344	28	58	13	1
12 東六小からの通信やホームページ、ブログに知りたい情報が載っている。	101	164	75	5	345	29	48	22	1
13 東六小は、質問や相談に丁寧に応じている。	109	210	23	2	344	32	59	7	1
14 授業参観や懇談会、教育面談などの実施時期や回数は適切である。	116	191	26	3	336	35	57	8	1
15 東六小は、保護者や地域の方々の意見を教育活動に生かしている。	91	215	32	4	342	27	63	9	1
16 東六小は、地域の人材や資源を教育活動に取り入れている。	126	195	23	0	344	37	57	7	0
17 東六小は、学習しやすいように、教室や廊下などを整備している。	111	189	42	4	346	32	55	12	1
18 東六小は、学習しやすいように、校庭や校舎周辺を整備している。	114	184	43	4	345	33	53	12	1
19	0	0	0	0	0	0			
20	0	0	0	0	0	0			
21	0	0	0	0	0	0			
評価毎計	1708	3978	810	48	6544	26	61	12	1
回答率						80%			
回答数						346			
在籍数						433			

保護者アンケートB「日常の指導」 学年比較(%)

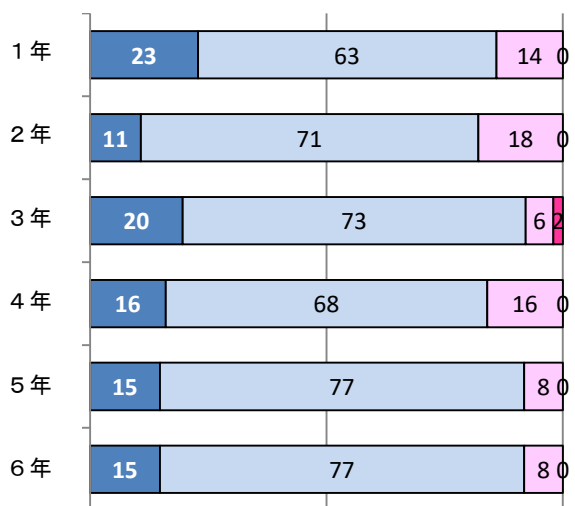
1 東六小は、子供たちにとって分かりやすい授業をしている。



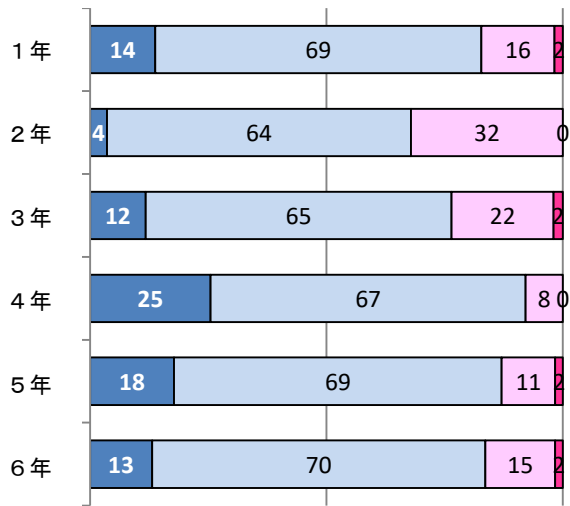
2 東六小の子供たちは、家庭学習（宿題、自主勉強、読書など）に進んで取り組んでいる。



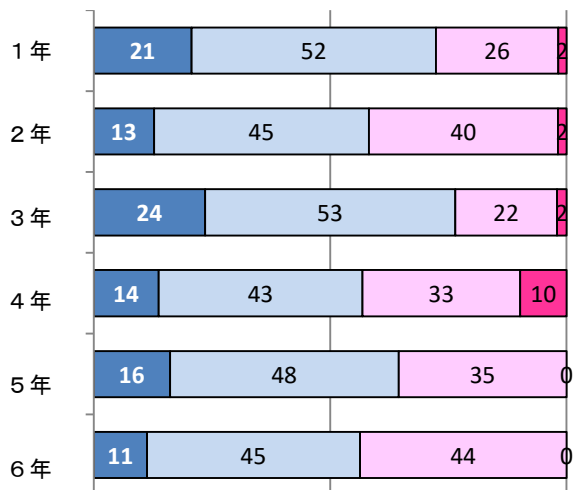
3 東六小の子供たちは、社会規範や公衆道徳を身に付けている。



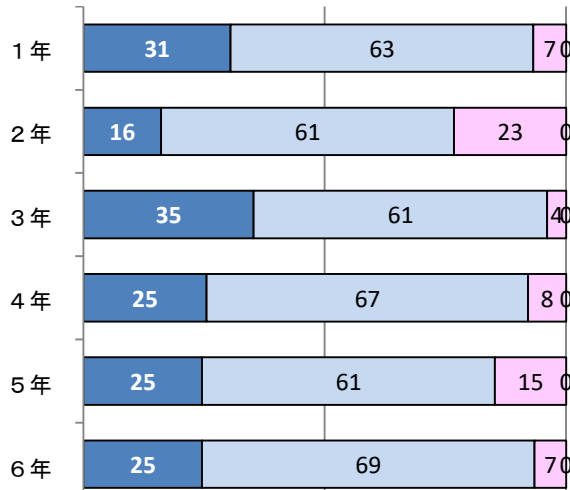
4 東六小の子供たちは、丁寧な言葉遣いをしている。



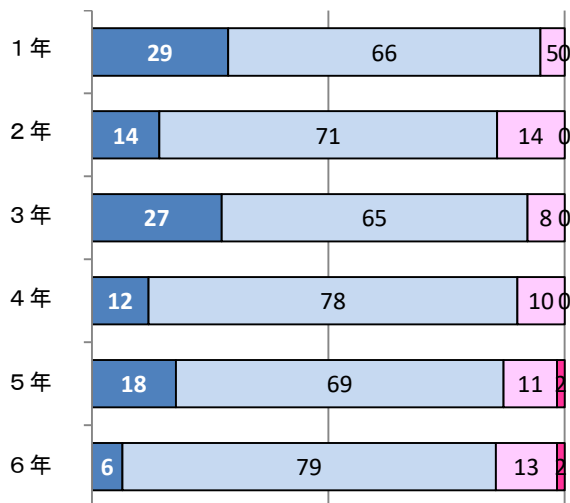
5 東六小の子供たちは、進んであいさつをしている。



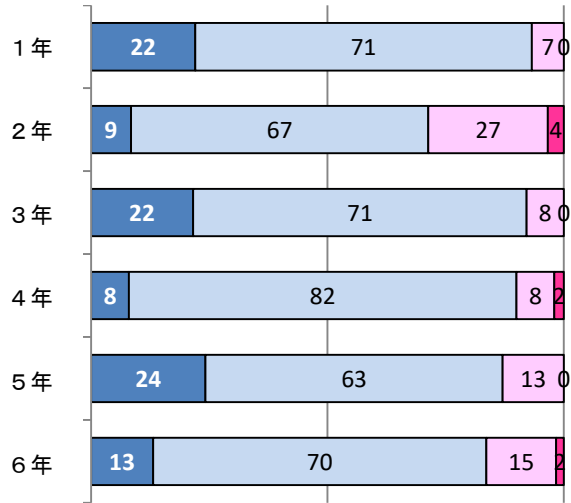
6 東六小の職員は、子供たちや保護者にとって相談しやすい雰囲気づくりをしている。



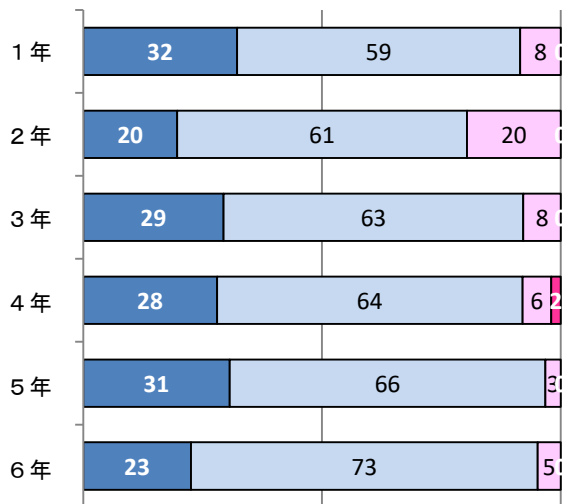
7 東六小の子供たちは、規則正しい生活習慣を身に付けている。



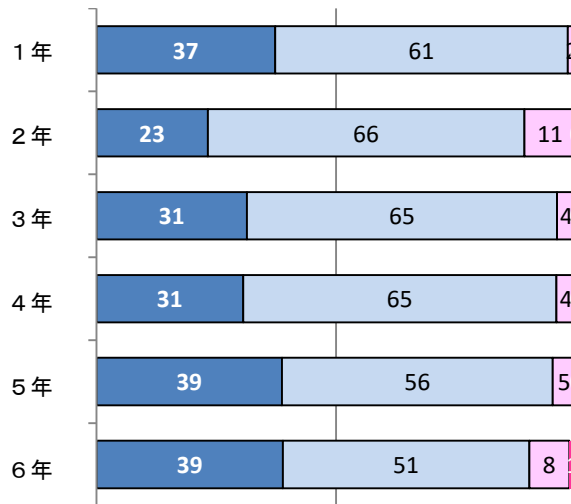
8 東六小の子供たちは、安全に注意して生活している。



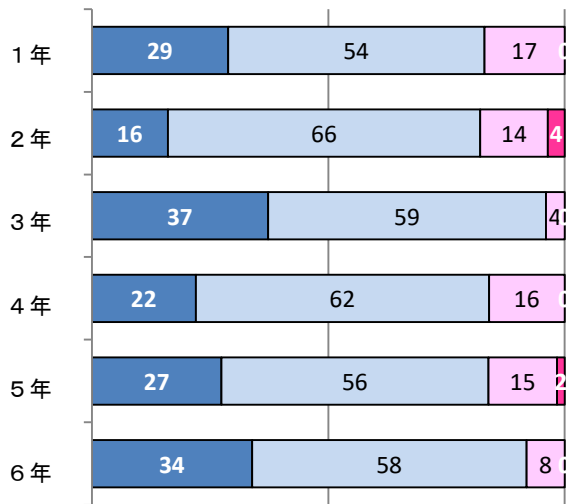
9 東六小の子供たちは、不審者や災害に対する心構えがある。



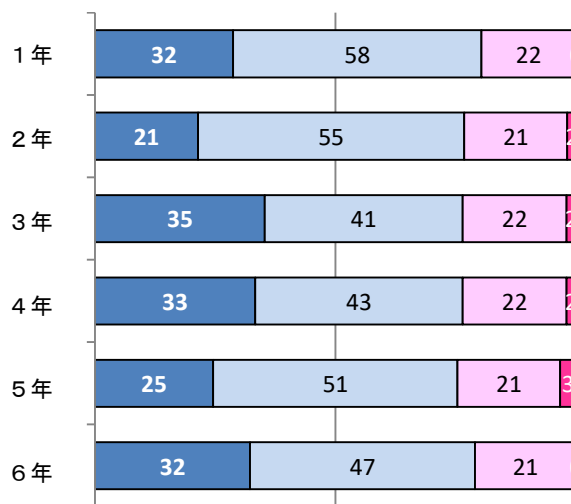
10 東六小の子供たちは、自分や友達を大切にしている。



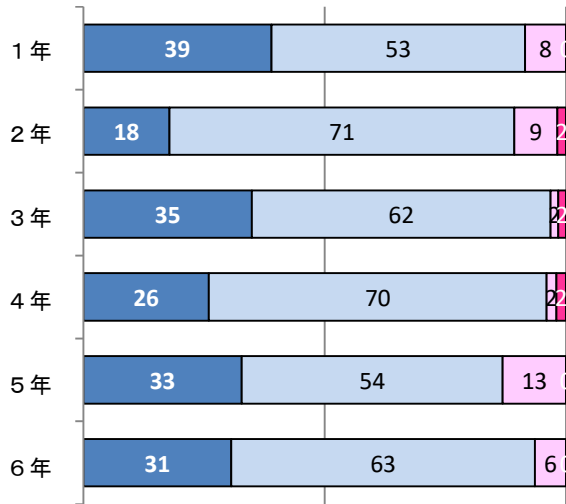
11 東六小からの発信で、教育方針や教育活動の様子が伝わっている。



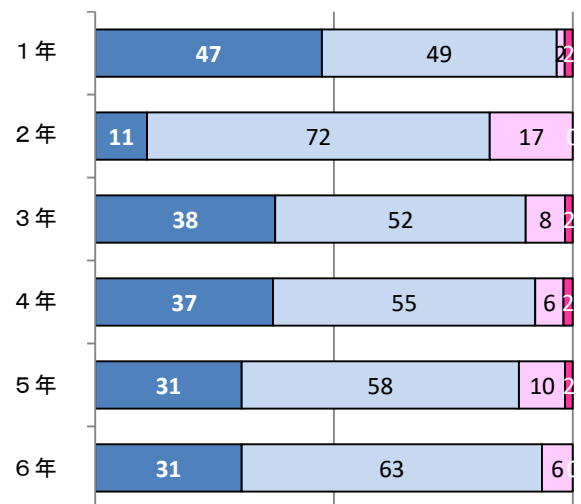
12 東六小からの通信やホームページ、ブログに知りたい情報が載っている。



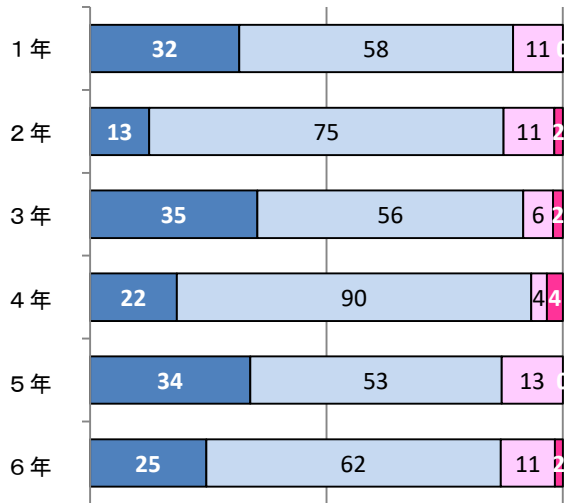
13 学校からの発信で、教育方針や教育活動が伝わっていますか。



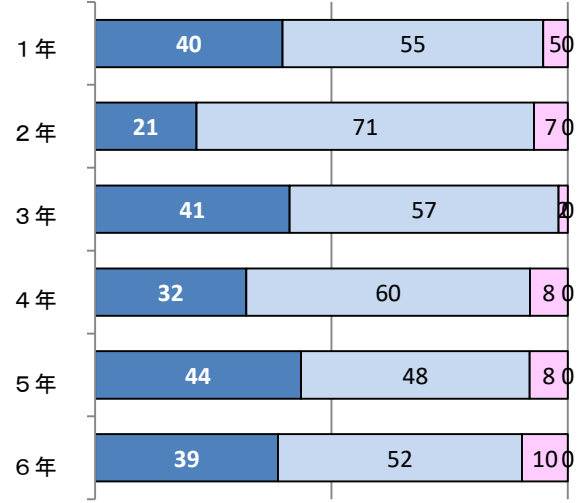
14 授業参観や懇談会、教育面談などの実施時期や回数は適切である。



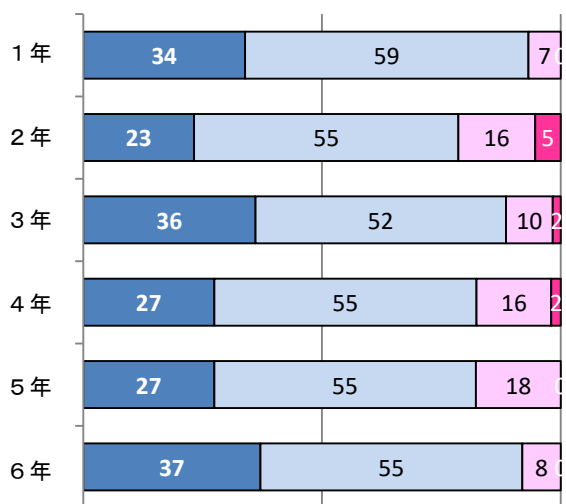
15 東六小は、保護者や地域の方々の意見を教育活動に生かしている。



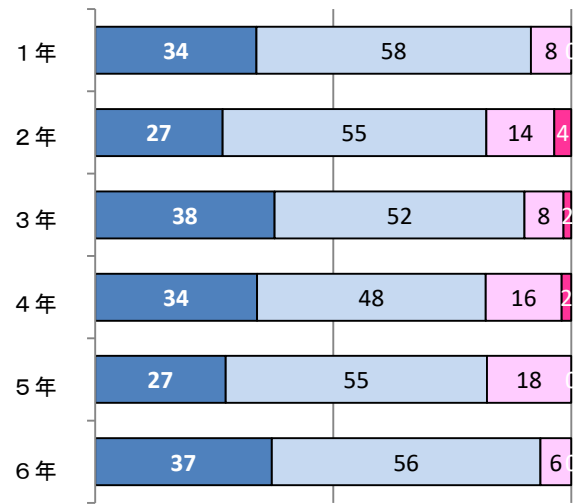
16 東六小は、地域の人材や資源を教育活動に取り入れている。



17 東六小は、学習しやすいように、教室や廊下などを整備している。



18 東六小は、学習しやすいように、校庭や校舎周辺を整備している。



 保護者アンケート 記述内容

(校内外の環境について)

- ・ 校舎がもう少しキレイになるといいなと思います。
- ・ 冷房を早めにつけて欲しい。
- ・ トイレが汚く、不衛生。集金をして頂いても良いので、修理してもらいたい。
- ・ 学校は改修工事の予定はあるのでしょうか。噂で聞いたことがあるので、予定があるのでしたら、ホームページで構いませんので、内容を教えて欲しいと思います。プールが古くて、コンクリートがボコボコしていて、けがをしてもおかしくない状況だと思いました。
- ・ 校舎がもう少しきれいになるといいなと思います。
- ・ お手洗いを洋式トイレに替えて欲しい。
- ・ 学校が新校舎になるという説明から約1年経ちますが、その後の経過がわかりません。コロナ禍もあり、その後どうなったのでしょうか。
- ・ 通学路の歩道橋に、学校に植えてある木の枝、葉がたくさん落ちていて危ない。階段にもたまっていて、滑りやすい。木(枝)を歩道橋に影響が出ないように切ったりして、管理して欲しい。先日のせん定分だけでは足りていません。
- ・ 校舎が古いので、どうしても難しいと思います。新しい校舎が楽しみです。
- ・ 給食エプロンのくすみや古さが少し気になります。定期的に新しい物へと替えて欲しいです。
- ・ クラスの人数が多すぎる。

学校より

- ・ 校舎内の環境整備については、できる限りの取組を行っているところではありますが、なお一層心掛けていきたいと思っております。新校舎等の建設については、後日お知らせいたします。

(あいさつについて)

- ・ 東六小の児童について、あいさつをしない印象が強いです。学校で指導しても、家庭でのしつけができていないと改善につながらないと考えます。ですので、家庭(保護者)への呼び掛けも必要だと思います。
- ・ 学年問わずあいさつ運動。低学年の子供たちにも、積極的に行って欲しい。
- ・ 交通当番の時など、あいさつしても返さない児童が多い。

学校より

- ・ 児童のあいさつについては、その行い方の個人差が多く見られています。教職員が児童のあいさつのよきモデルとなるよう心掛けてまいります。

(学校行事等について)

- ・ コロナ禍でもできるだけ行事を行ってほしい。例えば、学年単位のミニ運動会など。

- ・今年度はコロナの影響で行事のほとんどが中止となったが、これを機に年間行事を見直し、大きい行事は縮小、廃止するなどして、児童との日々の関わりに、より時間を割けるようにしていただいた方が良いのではと思う。（先生方の業務過多な状況を改善できると良い）
- ・今年度はコロナの影響で学校行事が少なかったが、学校 HP ブログで子供たちの様子を知ることができた。こういった取組は続けて欲しい。
- ・保護者が、学校での子供たちの様子を見られる機会が多ければ、家庭での会話や対応もしやすくなると思う。委員などは別に、学校とかかわる時間が欲しいです。
- ・授業参観を土曜日にして欲しい。
- ・他学校は、コロナの中、授業参観日は設けていないと聞いた。状況に応じて対応して欲しいと思います。
- ・プリントが多すぎます。あちこちに情報を載せられると、非常に管理しづらいです。野活の朝の集合時間の誤りについても、事前にきちんと連絡いただきかったです。

学校より

- ・今後の行事については、できる限り実施するよう随時計画をしております。しかし、これまで行ってきた行事のやり方では、今後は実施が難しいと考えております。何卒ご理解ご協力をいただきますようお願い致します。

(授業等について)

- ・地域の人との関わりを持つ授業等は、とてもよいと思います。
- ・丁寧に授業を行って下さりありがとうございます。ぜひ「時間を守る」ことを意識させることをお願い致します。あいさつ、特に「チャイム開始」です。中学生になり、チャイムと同時に授業が始まるのが一番困難であると聞きました。時間がなくても急いで準備するなど、授業は45分しっかり行い、すぐ切りかえることの大切さを声掛けしていきたいと、母とも話しています。
- ・授業について、先生の一方向的な講義形式ではなく、生徒たちが参加型、もっと意見を求めるような内容にさせていただくと良いと思います。
- ・教科別（高学年）にすることで、様々な考えの先生方と関わって良いと思う。先生の負担がとても大きいように感じる。
- ・宿題は特に出さなくても良いと思う。子供が自分のやりたいことに時間を使えるように、見守っていただければと思う。
- ・日記や作文の宿題が一切ないのは残念です。文章を書く課題があるとうれしいです。
- ・一人一人の理解に合わせた授業が望ましいのですが、今年は難しいのでしょうか。子供が「黒板を写してノートに書いているだけでついていけない」と言っていたので。

- ・ 授業参観で思いましたが、発言できる場になれていない子供たちにも、発言する力や、その機会が作られたらと感じました。手を挙げている子たちはもちろん、自信があり、自分の考えていることを発表する力があることはすばらしいと思いましたが、そうではない消極的な子供たちにも、「発言することは恥ずかしくないこと、自分の考え方に自信を持つこと」等、多くの子ができる環境であると、クラス全体での成長につながると思います。
- ・ 図書室の本を、もっと積極的に子供たちが読みたくなるような仕組みがあるとよいと思います。年間50冊で教頭賞とか、200冊で校長賞など、先生から賞状がもらえたり、ほめてもらえると目標ができて本をたくさん読む子が増えると思います。東六小に転校してきてから、子供が学校から本を借りてこなくなった経験ありです。

学校より

- ・ 学校行事等と同様に、授業の行い方についてもこれまで通りにできないことが多く、日々悩んでいるところです。宿題については、様々なご意見がありますが、児童の実態を踏まえて検討していきます。

(情報関係について)

- ・ 連絡はメールの他にアプリなど、ツールを増やして欲しい。紙ベースも大事だが、時代に合っていない。(時代遅れすぎる)子供世代にはITは重要なのに、学校側が変わらなすぎる。
- ・ すでに取り組んでいただいていると思うが、ネット(IT)の活用を進めて、業務効率化や、保護者と学校との情報共有、連携強化につなげてほしい。

学校より

- ・ 「仙台ギガスクール構想」のもと、新たなIT環境の整備が始まりました。何卒ご理解ご協力くださいますようお願い致します。

(いじめ等生徒指導について)

- ・ いじめ=悪い事というのは理解できているようですが、具体的にどういうことかが今ひとつ分かっていないようでした。その点ご指導いただきたい(していただいています)と思います。一人一人が大切な存在だという、社会の一員として守られているのだと実感を持ってもらいたいなと思っております。
- ・ 今の状態がそこまで悪いとは全然思いません。ただ、子供同士のトラブルの対応は、相手の保護者の方まできちんと伝わっているのかは、たまに疑問に思うときはあります。
- ・ 何か問題が起きたときの対応が遅いと思う。現場にいた子供たち全員を集めて、事情を聞くべきだと思う。先生に報告した子が、被害者のようにすぐ捉えないで欲しい。その問題の現場にいた子たちを集め、話し合い、子供一人一人の意見を聞いた上で教育していただきたい。高学年になれば、子供たち同士で解決できる

と思うので、そういう手助けを先生がしてくれたら良いと思う。いちいち自宅に報告はいらない。学校で解決しているのならそれでよい。

- ・ 通学路で広がって歩いているのを見受けられるので、学校でも声掛けや交通ルールなど教えて欲しい。

学校より

- ・ 本校では、道徳の時間を中心とした授業研究を中心に、「いのちを大切にする教育」を推進してまいりました。しかしながら、現状では児童間でいじめにつながるようなトラブル等が起こっており、把握した時点ですぐに児童から聞き取りを行うなど即時対応するよう取り組んでおります。トラブルの発生状況やそれに伴ったケガ等については、すべて保護者へお知らせしておりますが、学校側で気が付かない場合もありますので、その際はぜひ学校へ教えていただきたく思います。

(アンケート回答に関して)

- ・ 16, 17 に関しまして、判断材料がないため、未回答とさせていただきます。
- ・ 一部の子供たちとしか面識がないため「東六小の子供たちは～」という質問に答えることが難しい。「分からない」という答えを選べるようにしてほしい。正直、全ての回答に困りました。
- ・ 質問が抽象的で、回答しにくい。(生き生きと活動している等、具体的でない)
- ・ 社会性、保健・安全の部分は、今年入学ということもあり、コロナ禍で、他の児童を見る機会がないのでよく分からず、記入しませんでした。

学校より

- ・ アンケートの回答について、分かりにくい部分がありましたこと、大変申し訳ありませんでした。ご意見を参考にして検討させていただきます。

(その他)

- ・ 子供が楽しく学校へ通っているのは、先生方のご配慮、ご指導のおかげだと思います。本当にありがとうございます。
- ・ コロナで消毒など、先生方の仕事が増えて大変だと思いますが、お体に気を付けてください。子供たちの事をこれからもよろしく願い致します。

地域アンケートB「日常の指導」

設問 / 評価	人数(人)					割合(%)			
	A	B	C	D	合計	A	B	C	D
1 東六小は、子供たちが生き生きと活動できる学校になっている。	10	13	2		25	40	52	8	0
2 東六小の子供たちは、丁寧な言葉遣いをしている。	3	16	5		24	13	67	21	0
3 東六小の子供たちは、進んであいさつをしている。	5	13	8		26	19	50	31	0
4 東六小の子供たちは、規則正しい生活習慣を身に付けている。	4	16	3		23	17	70	13	0
5 東六小の子供たちは、安全に注意して生活している。	3	16	5		24	13	67	21	0
6 東六小の子供たちは、不審者や災害に対する心構えがある。	6	13	4		23	26	57	17	0
7 東六小の子供たちは、自分や友達を大切にしている。	3	16	4		23	13	70	17	0
8 東六小からの発信で、教育方針や教育活動の様子が伝わっている。	8	16	2		26	31	62	8	0
9 東六小からの通信やホームページ、ブログに知りたい情報が載っている。	6	13	5		24	25	54	21	0
10 東六小は、保護者や地域の方々の意見を教育活動に生かしている。	6	14	1	1	22	27	64	5	5
11 東六小は、地域の人材や資源を教育活動に取り入れている。	8	13	1		22	36	59	8	0
12 東六小の子供たちは、朝のあいさつ運動やごみ拾い活動、5・6年生のランドセルメッセージなどを通して、地域の人々と関わろうとしている。	5	17	3		25	20	68	12	0
13 東六小の子供たちは、地域の行事に積極的に参加している。	5	15	3		23	22	65	13	0
14 東六小では、学習しやすいように、教室や廊下を整備している。	5	18	1		24	22	65	13	0
15 東六小では、学習しやすいように、校庭や校舎周辺を整備している。	5	16	3		24	21	67	13	0
評価毎計	82	225	50	1	358	23	63	14	0
提出率	87%								
回答数	26								
在籍数	30								

<A> 地域アンケート 記述内容

- ・ 令和2年度は、コロナウィルス感染症の影響を受けて、地域住民としての活動が不十分でした。誠に恐縮ですが、アンケートに満足に答えることができないと感じております。今後も「人との関わり」を進めてほしいと思います。町内会の一部の子供たちとの接触でしたので回答になりません。
- ・ 本年はあまり声をかける機会がなく、残念でした。
- ・ 子供たちにとって、知らないおじさん、おばさんに声をかけられてもげげんな顔をしている。今の時代にやむを得ないことかもしれないが残念に思う。
- ・ 不審人物が多い昨今、なれなれしい声かけは行わないようにしている。しかし、いざとなれば進んで援助を惜しまない。
- ・ 歴史の教科書に刻まれるであろう国難と感じる。未曾有の危機となった2020年は社会の分岐点となりました。どんなときも何があろうとも学校教育の本質は変わらず、新しい生活様式とともに、今を乗り切り、国難を克服できる地域、学校、子供たちとなるよう、一同ともに力を合わせて頑張りましょう。現実を見据えつつ、未来に夢を育む教育を願います。
- ・ 今年はコロナの影響で「かかわり互いに」ということが難しかったので、来年度も継続してほしい。
- ・ 多くの社会人との関わりを持てるようにしてほしい。
- ・ 登下校の際に、ノーマスクの子供が多い。話し合い？が佳境になってくるとそうなるのかと思いますが、注意喚起をお願い致します。

 地域アンケート 記述内容

- ・ 学校、地域、保護者の三者がコミュニケーションをよくし、目標を設定し、協働での目標に向けて、行事を進めていくことが必要です。お互いに情報を共有し、そのための協議を保持していくことが大切だと考えます。新型コロナウイルス感染症を終息させて、子供たちが通常の生活に戻れることを祈ります。
- ・ できるだけ思い出づくりとなる学校行事ができるよう、対策をしっかりと取り、開催していただけるよう、切に願います。また、個別に抱える事情を持つ家庭や子供たちへの対応が大変だと理解しております。教職員の皆様にもそれぞれ家庭がありますので、できることと難しい状況の判別をして、無理をせずに取り組んでいただきたいと思います。
- ・ 子供たちの成長がよく分かります。このまま成長してほしいです。新型コロナの中、先生方も大変だろうとお察し致します。ともに頑張りましょう。
- ・ 私たちは子ども会のお母さん方とつながりが多く、いろいろな面で助けてもらっています。今年はコロナのため、会うことができず、残念なのですが、会長として感謝しています。この地区のお母さん達はすばらしい人たちです。日本の将来は明るいと思っています。東六の校風でしょうか。

- ・コロナで社会，地域の接点，学びが難しい状況ですが，できる方法を工夫して取り組んでいただきたいと思います。何卒よろしくお願い致します。
- ・ 子供を取り巻く環境変化の中で，人と関わろうとする意欲の低下や集団行動を避けて内に籠もりたがる風潮が強まっていることに強い懸念を感じます。特に，今般のコロナ渦においては大人社会においてコロナウィルスに対する感じ方や注意の仕方は人によって差があり，そのことが分断を生む原因となっています。

また，今のネット社会では、子供たちが五感をフルに使って様々な体験をする機会がどんどん減少しています。多くの子供たちの遊びがゲーム中心であり，集団の中で切磋琢磨して人間として成長していく姿からは遠く離れてきています。

「生きる力」を育むためには，人や自然や社会の現実に触れる体験が非常に重要です。

家庭教育の在り方を見直すこと，生活体験の重要性を親と共有することも重要だと思えます。例えば，家の手伝いを積極的にやらせることは，その後の自立した人間を形成するためにも重要な要素となります。（例えば仕事の段取り力の育成につながります。）親と一緒に子供たちの成長を考える機会をぜひつくっていただきたいと思います。

私が考えた重点目標としては，下記の通りです。

「人や自然，社会と積極的にかかわり，体験を通じて成長しよう」

学校より

- ・ 日頃より地域の皆様から見守っていただき，学校教育を推進していくことができていることに改めて感謝申し上げます。今年度は，これまでとは全く違った対応が迫られる厳しい状況になりましたが，新たな形で今後ともより一層地域の皆様との連携を図ってまいりたいと思っております。今後とも忌憚なくご意見をいただきますようお願い致します。